

中央地区

人口	男	3,074人	女	3,425人	計	6,499人	世帯数	2,567世帯
----	---	--------	---	--------	---	--------	-----	---------

※人口、世帯数は令和4年1月1日時点

《事業概要【分野】と主な支出内容》

① 新規防犯灯設置事業 【防犯】

主要幹線道路の開通に伴い、通学路上の不安箇所には防犯灯を設置し、防犯パトロールや交通指導を強化する。

LED 防犯灯設置 (7基)

② 岩山ハイキングコース整備事業 【観光】

岩登りができる人気の山「岩山」の散策路整備や登山コースPRにより地域活性化を図る。

地図入案内板、矢印案内板、説明案内板、全体案内板、危険防止看板、コース案内板、方向指示板の設置、パンフレット、ハイキングコースマップの作成

③ 中央地区支えあい事業 【福祉】

地域住民による高齢者の生活支援により、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに取り組む。

ブロワ、下刈機、刈払機、ヘッジトリマ、生垣バリカン、刈払機チップソー等購入

④ 安全で安心する地域づくり事業 【防犯】

市街地の安全確保と犯罪抑止のため、防犯カメラを設置する。

防犯カメラ設置 (4台)、防犯カメラ作動中シート設置 (20ヶ所)

《収支決算》

【収入(円)】

費目	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
地域の夢補助金	—	1,393,480	—	6,864,890	1,576,665	9,835,035
その他補助金	—	0	—	0	0	0
自己資金	—	0	—	0	188	188
計	—	1,393,480	—	6,864,890	1,576,853	9,835,223

【支出(円)】

事業No	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
事業①	—	1,393,480	0	0	0	1,393,480
事業②	—	—	—	3,990,580	1,576,853	5,567,433
事業③	—	—	—	212,310	0	212,310
事業④	—	—	—	2,662,000	0	2,662,000
計	—	1,393,480	—	6,864,890	1,576,853	9,835,223

《事業への取り組みを振り返って》

① 新規防犯灯設置事業については、中央地区の花岡町・日吉町地内でここ数年、住宅地の分譲や店舗出店が活発であり、若い世代の増加に伴い、幼児・小中高生も増加してきました。自治会としても「安全・安心なまちづくり」の観点から、交通安全指導や登下校の見守りなどを住民の協力を得て実施しています。

平成29年3月に「南大通り」が「古峰原宮通り」と連結開通し、交通の利便性が向上されましたが、新設道路沿いには防犯灯が整備されていなかったため、児童生徒の下校の際に、保護者や近隣住民から、事故や事件への懸念が多数寄せられていました。

そこで、地域の要望に対応するため、「平成30年度地域の夢実現事業」の申請を行い、「防犯灯の新設計画」が採択決定され、「LED防犯灯の新設」設置工事を実施いたしました。その結果、周辺住宅地や通学路の不安箇所が解消され、事件・事故等の発生もなくなりました。

今後も、「安全・安心」を確保するのが自治会の役目であり、「明るく住みやすいまち」を目指して、自治会や育成会をはじめ、各種団体の方々と住民の方に協力をいただき、中央地区の各地域の状況を把握した上、地域の安全環境を計画的に確保し、防犯パトロールや交通安全指導を積極的に実施していきたいと思っております。

～ 「防犯灯」 設置状況 ～



② 岩山ハイキングコース整備事業の「岩山」については、中央地区の北西で日吉町と西鹿沼町の間位置しており、標高328mの低い山ですが、多くの岩場があり、ハイキングはもちろん、手軽にロッククライミングが楽しめる人気のある山です。栃木百名山にも選ばれ、都心から在来線で2時間ほどの距離にあることから、県内外からもたくさんの登山客が訪れています。古くから子供たちの遊び場であり、学校の授業や遠足などで利用されるなど、「岩山」は、現在も中央地区の住民にとって、思い入れの深い地域のシンボリックな山として親しまれています。しかし、近年では、心ない人たちの不法投棄により山は荒廃し、岩場のクサリやハシゴなど施設の老朽化も目立ち、管理の行き届かない状況が続いており、地域住民も心を痛めている状況であり、急峻な岩場など危険箇所が点在し、事故の報告も少なくありません。

そこで、地域の夢実現事業を導入し、中央地区の地域の財産である「岩山」を整備することにいたしました。県内外からの訪問客が多い「岩山」を、安全・安心に登山ができるように「岩山登山コース案内看板」等の設置を行い、「岩山」の魅力を最大限に引き出すことができました。併せて、「中央地区の史跡・名所」等の入った「ハイキングコースマップ」や「全体案内看板」等を作成することができ、中央地区の活性化と地域づくりに、貢献することができました。

～各看板設置状況～



「岩山登山コース全体案内板」



「危険箇所案内板」



「ハイキングコース順路図」



「矢印案内板」

③ 中央地区支えあい事業については、高齢者が安心して暮らしていける地域づくりが、地域の抱える大きな課題となっており、中央地区においても、少子高齢化が進んでいます。そのような中、さまざまな事情により、日常生活を営む上で家事援助の必要性が生じ、かつ家庭内で援助を受けることができない方々に対して、支援者を派遣して自立への援助を行う「支えあい事業」を実施しています。

地区住民のためにその地区の住民が支援することは、「地域包括ケアシステム」での重要な取り組みの一つであり、これからの超高齢化社会においては、避けては通れない課題です。この支えあい事業を進めるにあたり、地域の夢実現事業を活用し、日常生活支援に必要な「資機材」を配備し、家事援助サービスの充実が図られ、高齢者等が安全・安心で快適な暮らしを実現することができました。

～「支えあい事業」作業の様子～



- ④ 安全で安心する地域づくり事業については、当地区の観光拠点である「新・鹿沼宿」の開設により活性化が図られ、いつも賑わっております。そこで開催されるやさつきマラソンや、鹿沼秋まつり等には、多くの観光客等が来訪しています。そのため、安全で安心する地域づくりを進めるため、地域の夢実現事業の実施により、「防犯カメラ等」を設置し、犯罪抑止力を高めるとともに、防犯意識の高揚につなげることができました。

～各設置状況～



「防犯カメラ」



「カメラ作動中」看板